

チャンスがあれば
トライしてみる。
大学時代の経験が、
背中を押した。



株式会社瓢月堂専務取締役

おかだ みさよ

岡田美佐代さん

社会学部 1987年卒

「もう一度食べたい」—— お客様の声を励みに

私は現在、洋菓子や米飯製造販売の会社で専務取締役を務めています。主な仕事は全体の店舗と業績の管理、そしてその方向性の決定で、東京の廣尾瓢月堂と、おこわを販売する寿徳庵、そして大阪でお菓子を扱っている瓢月堂という3つの会社で同様の業務をしています。廣尾瓢月堂のお菓子「六瓢息災(むびょうそくさい)」は接待の手土産として雑誌でとりあげていただくなど、ギフト商品としてのブランドになりつつあると感じています。

またその他、商品企画にも携わっています。たとえば「羽田空港ひとくちおこわ」は、自分が出張のときにおいしいお弁当がないと感じていたので、非日常的な空間で、手を汚さず食べられる美味しいものを作りたいと思っていました。普通おこわはお店で盛って売るので、お菓子のような売り方をしたいと考えて作りました。

私たちが作りたいのは、もう一度食べたいとリピートしたくなるお菓子です。そういうものは一気に売れなくても、長い間に売れていくのかなと。「六瓢息災」も売れるようになったのは10年くらい前ですね。お客様が

お客様を呼んでいただき、売り上げが伸びました。皆様を裏切らないお菓子だから、認めてくださったのかなと思います。

また大阪の空港や主要駅で販売している「たこパティエ」というお菓子では、ツイッターやインスタグラム(@takoyaki_sweets)にも力を入れており、コメントなどでも良い反応をいただいています。ツイッターのフォロワーは8万人くらいですが、こちらもお客様がお客様を呼んでいただく感じで、すごいと思っています。

仕事のある日は6時過ぎに家を出て、7時過ぎに出勤。そこから朝礼などを終えて掃除。わが社は掃除に力を入れていて、朝は全員で1時間くらい行います。その後、営業に出たりデスクワークをしたりして、早いときは6時くらいに帰ります。でも営業の人数は少ないので現場に行ったり、遅くまで手伝ったりすることもありますよ。

土曜は出勤しますが、日曜や休めるときは休みます。また月に2、3回は、出張で大阪に行きます。気分転換といえば夫と行くゴルフくらいですが、今年はまだ2ラウンドしかできていないんですよ。

証券会社からお菓子の販売に —— 人との縁が、力をくれた

大学時代の志望は、マスコミ関連でした。そこで4年生になる前に語学の勉強もかねて留学したのですが、いろいろな方に出会い、考え方が変わりました。最終的には起業したいと考え、その勉強のために金融関係、そのなかでも証券会社を選びました。当時の中では女性が

男性と一番対等に働ける業種だったんですね。その時の勤務先だった新宿の支店で、同僚と一緒に早朝から夜遅くまで、新規開拓のために歩き回るのは大変でしたが、お客様ができて取引が成立していくのは楽しかったです。

このときの営業活動は、後の仕事でもとても役に立ちました。どこに行くのも怖くなくなったし、突然の訪問なんてへっちゃらになっちゃいますし。そして周りには、本当に恵まれました。上司も良い方ばかりで、すごく面倒を見ていただきました。

その後バブル崩壊で家業が厳しくなり、会社の一助となるため現在の瓢月堂に入社しました。当時広尾にお店があったのですが、羽田空港と東京駅に出店しろと言われて、飛び込み訪問しました。そのとき会っていただいた羽田空港の方が、たまたま証券の上場を担当されていて、なんと私の前職の会社がその主幹事だったんですね。そこから話が盛り上がり、お取引いただくことになりました。

でも当初は売れる商品がなくて困りました。当時は小さな会社で上手

に作れる職人もいなかったのですが、そのとき姉が、打って出るには良い商品が必要だと製造に入ってくれたんですね。そこから東京で売れる商品ができて、おかげで一気に売上が取れました。でもその後も浮き沈みがあったりして、しばらくは大変でした。

私自身は生産する側ではなく売方ですが、仕事として好きなのは考えることですかね。考えたものが商品になるのが一番嬉しかった。もちろん売ればもっと楽しい。そのためなら自分で売りにも行きます。元々ものを作ったり絵を描いたりすることが好きでしたし、小さい頃から人と違うものを作りたいと思っていました。

今後は、商品をアジア地域に売っていきたいと考えています。大阪の「たこパティエ」は向こうの方にすごく人気がありますし、トリュフを使ったBTBサブレも、やはりすごく人気なので、うまくそちらにいければなど。

テニスや留学。頑張ることで、世界が広がった

私は三人姉妹の末っ子で、全員中高は女子校でした。最初は男女共学の大学に行くと言ったらすごく反対されたんですね。でもなんとか説得して、結果的に関関同立のなかで心理学が学べて一番近いということで関大に決めました。結局マスコミ専攻のゼミに進みましたが、心理学の先生とは今も仲良くさせてもらっています。

大学時代の思い出は、やはりテニス同好会ですね。SLTCというサークルですが、全学年で200人ほどいて、練習も厳しかったです。2年生の後半からは運営にも関わり、3年生では幹部として頑張りました。当時は試合に出る他は、ほとんど千里山のコートに行っていましたね。泣いたり笑ったりの素晴らしい時間を共有できたことは、今でも大事な思い出です。当時の仲間とは今も付き合いが続いていて、7、8年

ほど前の同好会六十周年では、総勢600人くらいが集まりました。

そして4年生になる前に、留学のため休学しました。当初は語学留学だけの予定でしたが、3ヵ月通った後で、急遽学部の方に進むことになったんですね。州立オハイオ大学(Ohio University)の社会学専攻でしたが、英語だから難しくて大変でした。関大の単位はほぼ取得していたので、最後の半年だけ帰ってきて卒業。その後もう一回アメリカにバチュラー(学士号)を取りに行き、その後MA(修士号)を取得して帰ってきました。今までの人生で、一番勉強したと思います(笑)。

一生懸命やることは、絶対無駄にはならない——テニスや留学の経験で学んだことは、仕事の頑張りにも生きていていると思います。

校友会東京支部長に就任。これからは、同窓生の輪を広げていきます

この4月から、校友会の東京支部長に就任しました。入会した頃は、当時支部長の塚様に本当によくしていただきました。いろいろな行事に参加したり、自分たちでも企画したりと楽しかったです。しかし塚様が急に亡くなられて、その後は大変だったようです。そこで私に、次やってくれないかというお話をいただいたんですね。最初は仕事が忙しいからとお断りしていたのですが、支部の方から、裏方は受け持つので前面で人間関係を作りたいとも言っていただき、お引き受けしました。

現在の会員数は約140人強ですが、今



後は女性の参加も増えるようにしていきたいです。総会の他に女子会なども含めてのイベントを、年に5、6回ほど開催できれば。仕事や人間関係のしがらみから離れ、校友同士が心置きなく話せる、新たな仲間の輪ができれば素晴らしいと考えています。

最近に関西大学の学友ということが、本当に頼もしく素晴らしいと感じるようになりました。いろいろな方々とお話すると、関大というだけでこんなにも近い感じがするものですね。私たち新しいメンバーで、この活動の素晴らしさを受け継げるよう、微力ながらお手伝いができればと考えています。

「あなたにとって関西大学とは？」

うまく言えませんが、いろいろな意味で背中を押してくれた場所でしょうか。実は私、元々は飽き性なんです。だからこそ、コツコツと少しずつ頑張っ続けてられるようにと心がけてきました。大学時代、先輩後輩たちと切磋琢磨しながら頑張ったテニス同好会は、大変でしたが

とても楽しかった。おかげで、今も先輩や後輩たちとの交流が続いています。留学も本当に大変でしたが、その後の人生にとって、とても貴重な経験になりました。

最後まで続ける、そしてきちんと終わらせて結果を出す。それが自信となって、今につながっているんだと思います。関西大学は、自分の第一歩を作ってくれたところですね。



関西大学東京センター

100-0005 東京都千代田区丸の内1-7-12 サビアタワー9階
TEL: (03) 3211-1670 (代) FAX: (03) 3211-1671
<https://www.kansai-u.ac.jp/tokyo/>



公式 website



公式 Facebook



公式 Twitter



LINE スタンプ



LINE スタンプ
(関大ライブ編)



LINE スタンプ
(お仕事編)